



外来で診る発達障害 ——基礎知識&よくある相談への対応

I 章 総論

1. 発達障害とは——定義・分類を含めた臨床特徴古 莊 純 一

II 章 知っておくべき基礎知識——診断基準・検査・治療の基本

2. 自閉スペクトラム症 (ASD)牧 田 み ず ほ ほか
3. 注意欠如・多動症 (ADHD)宮 尾 益 知
4. 限局性学習症 (SLD)岡 牧 郎

III 章 初期対応——一般小児科医がどこまでできるか

5. 外来における初期対応渡 部 京 太
6. 乳幼児健診で「気になる子」に出会ったときの対応高 里 文 香 ほか

IV 章 よくある相談への対応

7. 言葉の遅れ——「言葉が出ない」「言葉が遅れている」など竹 内 史 穂 子 ほか
8. 集団行動・コミュニケーションの問題
——「同年代の子と遊べない」「集団行動が苦手」など汐 田 ま ど か
9. こだわりが強い・変化が苦手
——「同じおもちゃでしか遊ばない」など野 中 舞 子
10. 感覚の問題
——「音や光に敏感」「感触にこだわる」
「痛みや刺激を感じにくい」など中 村 由 紀 子 ほか
11. がまんができない・かんしゃく
——「かんしゃくを起こす」「言うことを聞かない」など山 崎 知 克 ほか
12. 集中できない・不注意・忘れ物
——「課題を最後までできない」「ミスや忘れ物が多い」など市 河 茂 樹
13. 運動が苦手・不器用
——「走るのが遅い」「よく転ぶ」「はさみの使用が苦手」など岡 田 俊 ほか
14. 読み書きが苦手
——「読み間違いが多い」「読むのが遅い」「作文が書けない」など大 澤 麻 記
15. 算数が苦手
——「数がわからない」「計算ミスが多い」「文章題が苦手」など稲 垣 真 澄 ほか

V 章 継続的な診療と生活のサポート——一般小児科医がどこまでできるか

16. 外来における継続的な診療のポイント神 尾 陽 子
17. 学校・園における発達障害児にかかわる諸課題と支援システム奥 住 秀 之
18. 学童期・思春期における二次障害への対応原 田 謙
19. トランジションの問題——スムーズに成人診療科へ移行するために石 崎 優 子
20. 発達障害の子をもつ家族へのサポート勝 盛 宏

●目で見える小児科

孤発性動脈管瘤の新生児例前 島 敦 ほか

●症 例

猫咬傷による Pasteurella 感染症をきたした新生児例加 藤 圭 恵 ほか
画像所見が先行し学童期に感音性難聴を呈した

先天性サイトメガロウイルス感染症の 1 例横 山 宏 司 ほか

●【連載】最近の外国業績より

消化器日本医科大学小児科学教室

(編集の都合により，一部変更される場合があります)